



平成 21 年 10 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社 朝日ラバー
代表者の役職名 代表取締役社長 横山 林吉
(JASDAQ コード番号 5 1 6 2)
問い合わせ先 常務取締役管理本部長 中沢 章二
T E L 0 4 8 - 6 5 0 - 6 0 5 1

経営合理化策の一部延長に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 9 月 15 日の取締役会において、平成 21 年 3 月 27 日に開示いたしました平成 22 年 3 月期上期の経営合理化策の一部を引続き延長することについて、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 背景

当社では、事業分野である自動車業界や情報通信業界からの受注が回復しつつある中、平成 21 年 4 月から経営合理化策を実施し、コスト削減に積極的に取り組んでおりますが、下期以降の見通しは依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

当社の収益基盤を安定させ、経営方針である独自の開発製品の市場供給を継続的に進めていくために、平成 22 年 3 月期上期の経営合理化策の一部を引続き延長することといたしました。

2. 下期以降も延長する経営合理化策の内容

(1) 役員等報酬の減額を平成 22 年 3 月度まで継続します。

- ・代表取締役社長を含む全ての取締役の月額報酬額の 3 0 % を減額します。
- ・監査役より申し出があり全ての監査役の月額報酬額の 2 0 % を自主返上します。

(2) 従業員給与等の減額を平成 22 年 3 月度まで継続します。

- ・正社員の能力給を 5 % 削減します。
- ・準社員 の時給を 5 % 削減します。

準社員とは、一年間の範囲内で会社と雇用契約を結ぶ期間契約社員です。

ただし、今期通期の利益予測が社内指標を達成できる見込みとなった時点で解除いたします。

就業時間短縮および休業日追加の実施については解除しました。

生産部門を対象に、製品群ごとまたは工程ごとに 7 . 5 時間の就業時間を 6 時間に短縮あるいは休業日を週一日追加し、正社員の能力給あるいは準社員の時給を 5 % 削減した後さらに 1 0 % 削減して支給していましたが、受注状況の回復により、7 月度をもって解除いたしました。

以 上